

こんにちは！ 日本共産党の **好きです！憲法9条**

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2014年1月31日 No.232
〒319-1112
東海村村松2401-2
toukai@oona-mieko.info
電話・ファックス 029-284-0761



映画 **三角屋根の下の秘密の恋** 「小さいうち」観ました

解説： 第143回直木賞を受賞した中島京子の小説を、名匠・山田洋次が実写化したラブストーリー。とある屋敷でお手伝いさんだった親類が残した大学ノートを手にした青年が、そこにつづられていた恋愛模様とその裏に秘められた意外な真実を知る姿をハートウオーミングかつノスタルジックに描き出す。松たか子、黒木華、吉岡秀隆、妻夫木聡、倍賞千恵子ら、実力派やベテランが結集。昭和モダンの建築様式を徹底再現した、舞台となる「小さいうち」のセットにも目を見張る。

あらすじ： 健史（妻夫木聡）の親類であった、タキ（倍賞千恵子）が残した大学ノート。それは晩年の彼女がつづっていた自叙伝であった。昭和11年、田舎から出てきた若き日のタキ（黒木華）は、東京の外れに赤い三角屋根の小さくてモダンな屋敷を構える平井家のお手伝いさんとして働く。そこには、主人である雅樹（片岡孝太郎）と美しい年下の妻・時子（松たか子）、二人の間に生まれた男の子が暮らしていた。穏やかな彼らの生活を見つめていたタキだが、板倉（吉岡秀隆）という青年に時子の心が揺れていることに気付く。（解説、あらすじは、[allicinema](#) から）

2月2日付しんぶん赤旗日曜版で紹介

山田洋次監督⇒

だまされない賢さを持って

ぜひ、新聞を開いてお読みください。

私は、運良く普及割引券（1000円）が手に入り、早速、28日の18時05分からの上映を、ほとんど貸切のように観てきました。

キャストは本当に豪華キャストぞろい。描写が丁寧・繊細で、私の知らない昭和10年代が吸い込まれるように描かれていました。

（日曜版から）… “小さいうち”での秘め事がスリリングで、これまで（の監督の作品）とは一味異なりますが、緻密な構成・演出で時代を凝視し、家族の絆を考えさせる山田監督ならではの作品です。…召集される板倉が可愛がっていた恭一に告げる別れの言葉—「しっかり勉強して賢い人間になれ」。現代の青年への監督のメッセージにほかなりません。「だまされてはいけない、疑う賢さを持って」と…

監督は、（かつて）国の意向に逆らう者は、「非国民」扱いされた時代をまた迎えかねない今を「不気味な時代」と言います。

今を生きる私たちは、本当に忙しい毎日かとは思いますが、ぜひ観ていただくことをお勧めします。

